

## 平成 24 年度第 4 回吹田市立図書館協議会（会議録要録）

開催日時：平成 25 年 2 月 20 日（水）午後 2 時～4 時

開催場所：吹田市立千里丘市民センター会議室 1

出席者委員）坂本委員、渡邊委員、原田委員、尾崎委員、中川委員、稲垣委員、末岡委員

事務局出席者）川下地域教育部部長、小池地域教育部次長、赤阪生涯学習推進室長、竹村中央図書館長、竹村参事、古田参事、西尾参事、金森千里図書館長、櫻井さんくす図書館長、廣本江坂図書館長、長島千里山・佐井寺図書館長、長千里丘図書館長、宮東山田駅前図書館長

傍聴者：なし

事務局）《配布資料の確認と、出席状況および人事異動の報告》

### 平成 24 年度第 4 回 図書館協議会次第

1. 学校図書館との連携について
2. 吹田市立図書館基本構想（素案）に係るパブリックコメントの結果について
3. 報告事項
  - (1) 「平成 25 年度図書館関係予算（案）」について
  - (2) 平成 25 年度図書館協議会スケジュール
4. その他
  - (1) 平成 23 年度（2011 年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）について
  - (2) 次回日程について
  - (3) その他

#### 1. 学校図書館との連携について

議 長）それでは、次第書に従いまして **1. 学校図書館との連携について** を議題とします。本日は、H 委員からのレポートを含め、皆さんの忌憚のないご意見を踏まえて議論を続けさせていただきます。H 委員ご発言をお願いします。

H 委員）まずは現場の声を聞きたいと考え、その内容をあげました。一番に学校図書館のサービス対象者を小学校低学年、高学年及び中学生というように分けて、本との接し方やとらえ方の現状を知る必要があると考えます。第二に図書が先生が忙しくてできていない事は何なのか、その理由。三番目に、先生方がやってみたくは何か、その背景は。などをもとに市立図書館と連携して何をするのかを探っていきたい。

その際に現場の声を基にして、誰を対象に、誰が、何処で、何故、何時、何を、どういうふう、どの位の予算で行っていくのか、つまり 6W2H を明らかに

する必要がある。

また図書館・学校連携に係る運営資源を学校と図書館各々に、ヒト、モノ、カネ、情報の4点の要素から考えると、実施段階で各資源の充足、不足をチェックし不足分への手当等の検討に資するものと考えます。

議 長) 今の報告を受けて何かご質問等ありますか。

I 委員) 吹田市の学校の図書館担当司書教諭は全校配置か。12学級以下でも配置されているか。

事務局) 全校発令かどうか正確に把握しておりません。

I 委員) それ以外に読書活動支援者という方がおられますよね。

H 委員) 私は、日ごろ子どもたちと接しておられる教諭をイメージしています。

I 委員) 実際に学校図書館を見てみたいと思っているのですが。

H 委員) とりあえずメール等で事情聴取をして一定の分析をしてから、どのような状況かをイメージし対象となる施設を決めてから、現場を見に行く方がよいと思います。

議 長) その他無いようでしたら、次の意見をお願いします。

G 委員) 学校図書館運営の主体は各々の先生方だから、とやかく言うのは良いことではないと思う。教育現場の先生が、どのように考え、市立図書館に対して、どのような支援を期待しているのかリクエストを出してもらい、図書館側からは何ができるかを検討し実行に移して行くという形が良いのではないか。

A 委員) 私は地元の市民の方々の意見を中心にしながら、連携を進めていくのが良いと思う。

議 長) 児童・保護者等、市民の多様な意見が取り入れられるような仕組みがあればよいというご意見ですね。では続いて意見をお願いします。

D 委員) 各学校で違いはあるのかも知れませんが、私の子どもが通う学校では始業前に読書する習慣が出来ている。また、宿題やレポート作成をする場合は学校図書を利用するように指導を受けている。公共図書館からのどんな支援が、子ども達の実読書や調べものを励ますことになるかはイメージがわからない。というのも、家に帰った子どもたちは、主にインターネットで調べものを済ませている現状があり、公共図書館に対する要求は聞こえてこないで、どういう工夫をしたら連携が深まるかまではわからない。

I 委員) 子どもたちはインターネットで調べているんですね。

D 委員) 子どもたちが公共図書館に行く回数は減っています。図書館にはインターネットに勝るものがあるんでしょうけど、足を運ばないですね。

I 委員) インターネットでは、本当の意味で系統的な学習にはならず、知識のつまみ食いになる。子ども達には、利用方法を具体的に提示してあげないとわからないと思います。

G 委員) 子ども達がどのように調べたらよいかは、先生が指導することであり私たちがインターネットを使うことをとやかく言うべきではないと思う。

I 委員) インターネットの利用による情報が、授業の中でどのように活用出来ているのかは、短時間では論議出来ない問題である。

G 委員) 授業に関わるインターネットの使い方は、先生が教えるべきものではないでしょうか。

I 委員) 確かにそうだが、吹田市立図書館の司書は教育の専門家ではないが、情報の取扱いの専門家でありサジェッションは出来ますので、そこが連携を考える上の要になると思う。

議 長) お子様はインターネットを使うのは、学校の中ですか。

D 委員) 自宅です。

議 長) その他無いようでしたら、次の意見をお願いします。

B 委員) 豊中市の学校図書館を見学する機会があつて吹田との違いに驚いた。問題は教育現場の方にあり、読書の面白さを体験できる場である図書館に足を運べば、そこに調べ学習とのつながりも築けると学びました。結局無いものねだりではなく現状で出来る事は何かと考えました。忙しい中で、現在市立図書館は出来る連携はしている、学校図書館が整備出来ない中での連携は、間接的なものにならざるを得ないと思う。読書活動支援者だけで出来ないことをボランティアやPTAが担っているのであれば、その方々へのブックトーク講座等を行って間接的な連携を行っていけば、問題意識を持つ方が増えて学校図書館の発展につながるのではないか。つまり学校図書館を支える市民を市立図書館が支えるという事。

議 長) 現状で出来る事を前提に、不十分な点があるならば、その部分をバックアップするのが市立図書館の役割だというご意見ですね。では今の意見に質問等ありますか。

I 委員) 学校図書館は学校教育で、市立図書館は地域教育で、とラインが分かれていますので、お互いに干渉してはならないような話になるが、豊中市の例はその連携がうまく機能しているからである。市民の中にも私たちの中にも越えられない壁があるのだが、ちょっとずつでも風通しを良くしないと話は進まない。

B 委員) 連携が上手くいっているという以上に、各学校に専門の正規の司書がいるという事が背景にある。しかし、この事は市立図書館側から言っても事態は変わらないと思う。

議 長) では、次の意見をお願いします。

I 委員) 先生はお忙しいし、専任の司書がいらない中では学校図書館の活性化は無理である。市立図書館は自分たちの事だけを考えたら良いというのではなく、吹田市の子子ども達になくてはならない学校図書館の存在意義を、我々としても提案し

ていけるのではないか。

H 委員) 豊中市では、学区の地域の市立図書館から学校図書館へ、応援なりバックアップなり行われていましたか。また、それは豊中市の市立図書館のサービスのベースに組み込まれているか。

B 委員) 調べ学習などでは資料の収集等でかなりの連携が図られている。しかし校長先生の話では、子ども達が読書の楽しさを味わうという点では、市立図書館に行かなくても学校の中で十分充足させられているとの発言があった。学校図書館はそれぐらい充実しているという事である。

I 委員) それは、豊中市は市立図書館と学校が一緒になって、子ども達に良い環境を作り上げていく姿勢があるから、実現しているものと思います。

議 長) 学校図書館の活用事例を調べると様々な取組がされているが、とにかく現場の声を聞くことから始める必要があると考える。例えば、学校の教員、司書教諭、支援員、ボランティアと市立図書館員で学校図書館活用委員会のようなものを作って、今後の在り方を検討してもらうのも一つの手ではないか。また、より具体的な話では、修学旅行のように学校行事、学校活動に必要と思われる資料群をあらかじめ市立図書館で用意しセット貸出する、というようなプログラムを当協議会で提案出来ないかと考えます。

B 委員) 吹田市立図書館のホームページには、「子どもの本のリスト」というページがあり年齢学年別に本の紹介が掲載されているが、私の周りでは誰も知らなかった。ぜひ広くPRして欲しいし、現物を揃えて図書館で見られる様に、またこれらの資料を使った読み聞かせを行って欲しい。せっかく作られたリストを活用して欲しいと思います。

事務局) 市役所出前講座で、児童書の今人気のある本の紹介プログラムや小さい子向け、あるいは保護者向けのプログラム等ご用意しています。ただし申込み制です。訪問先としてはPTAの集まりの他、一般の方の集まりに図書館使い方講座等の講演に行っていますが、紹介されたプログラム以外でも要望に合わせます。

議 長) 現場の声を聞く懇談会のような取組の中で、学校側の要望を聞いたり図書館からのPRを行っていくことから始めてはどうでしょうか。

G 委員) 教育委員会の組織を使って、全校にアンケートを採るのはいかがでしょうか。

議 長) まずは、実務者の方と意見交換しどのような問題点があるか洗い出した上で、その後の方向性を出していく方が良いかと考えます。

事務局) 図書館としても何らかの方法で学校の状況をお聞きしながら、ステップを踏んでいく必要があると考えています。なお、来年度から学校連携での新たな取り組みを予定しています。

議 長) それでは、次第書に従いまして**2. 吹田市立図書館基本構想(素案)に係るパブリックコメントの結果について**を議題とします。

## 2. 吹田市立図書館基本構想（素案）に係るパブリックコメントの結果について

事務局) 8通 28件の提案やご意見を頂戴し、その内3点について修正を加えます。内容は文章表現上の問題で2か所、自習室は見直すが自学自習の席の確保は行う旨を書き足すという点です。

I 委員) 素案という事だが、今後のスケジュールはどうなっているか。

事務局) パブコメで頂戴したご意見を反映して修正を加え、(案)のかたちで3月の教育委員会にお諮りをし、3月29日に最終発表となります。

I 委員) 構想は積極的な方向付けがされており期待している。その中で、ガンバ大阪との連携は今後も続くのか。

事務局) 選手とのふれあいや、試合日のリサイクル本フェアなど充実してきており全国的にも吹田市立図書館の名が知られるようになっております。一層の充実を図るつもりです。

I 委員) 子ども読書活動推進計画の進捗状況は。

事務局) 最終案がほぼ出来ておりまして、今年度中に発表する予定です。

議 長) では報告事項の **(1)平成25年度図書館関係予算(案)について** 事務局から報告をお願いします。

事務局) 《資料の説明》

議 長) 今の報告を受けて何かご質問等ありますか。

H 委員) 今後委託化の図書館は増えますか。また全ての館が同じ業者に委託していると思うが入札か。

事務局) 図書館(市)側から業者募集に際し、求められるサービス内容等を仕様として応募予定者に示した上で、外部委員を入れたプロポーザル方式で行っている。金額だけの競争ではなく、人員配置やサービス等、どのような内容になるかを複数の民間業者に競争してもらい採点をして候補者を選定しています。

H 委員) 資料購入費は約7千万となっていますが、どこから購入していますか。

事務局) 現状吹田市内の4業者で構成する書店組合に発注しています。図書館としては早く納品していただく必要があり、そのような図書館のニーズに耐える業者がなかったため組合を通じて図書館の要望に応えるような形で努力をしてきていただいた経過があります。なお、平成25年度からは、入札方式による図書調達に切り替える予定です。

H 委員) 中身云々の是非の論議の前に、市民に対してこれらを含め何でも情報公開し、今のような説明と今後の方向性等を是非とも広く市民に知らせてほしいという提案をしておきます。

議 長) では報告事項の **(2)平成25年度図書館協議会スケジュール 及び 4. その他 (1)平成23年度(2011年度)吹田市立図書館点検・評価報告書(案)について** を一括して事務局から報告をお願いします。

事務局) まず吹田市立図書館点検・評価報告書(案)につきましては、図書館法に基づき行うものですが、外部評価として当図書館協議会の意見を反映した形で市民に公表していきたいと考えます。中身としましては図書館の事業のうち、中心となる4項目に絞って点検・評価するものです。この評価につきまして来年度のスケジュールに入れさせていただきます。平成25年度6月に第1回として引き続き学校連携と点検・評価を。同11月に第2回として学校連携のまとめと平成24年度の図書館活動(統計)の報告。平成26年2月に第6期議題の検討と平成24年度の点検・評価について、をご議論いただきたく考えております。そして平成26年度6月には、現在作成中の基本構想のアクションプランの進捗状況と平成26年度基本方針と目標を議題としていただき、図書館運営と年間スケジュールのテンポを合わせていきたいと考えています。

H 委員) 議論を深めるために、資料については2週間前までに送ってほしい。また、1回ずつの協議会の進め方も、開会直後にこのように議論をすすめた旨議長の方から提案してほしい。

I 委員) 評価欄の意見をまとめるにあたっては、ブックスタート事業を見学したい。吹田市のブックスタートは集団検診での配布ではないようだが。

事務局) 当市のブックスタート事業は、検診の時に配布するのではなく図書館に来ていただいて事業の趣旨をご説明した上で、5冊の中から1冊を選んでいただくようになっております。

議 長) 点検・評価報告書の外部意見欄の意見提出は3月末ということをお願いします。

議 長) では、**4. その他の(2)次回日程について**を議題とします。

議 長) 次回の日程について事務局からお願いします。

事務局) 6月の12日か26日でお願いできますか。

I 委員) 水曜日が不都合です。

事務局) 夜も考えていただいても結構です。

議 長) 月・火の昼間を基本とし、だめなら夜を考えましょうか。事務局で候補日をあげていただいて多数の日を調整してください。

議 長) では、**4. その他の(3)その他**で何かありますか。

G 委員) ホームページ上で、文学全集やオペラのDVD全集などの各巻ごとの内容がわかるようにしてほしい。南千里ニュータウンプラザの平和記念室でDVDの映写会はできないか。新着一覧で1000冊以上が表示される場合があるので改良してほしい。ホームページの充実を是非して欲しい、次回システム変更時に利用者意見の取り入れ方も考えてほしい。

事務局) DVDは著作権の関係もあり、平和記念室で映写会はできません。また、システムに関しては多くのご意見をいただいているので、次期変更時には実現性の

有無を市民にお返しできればと考えています。

議 長) 他になければ、閉会します。ありがとうございました。

----- ∞ -----

本要録ならびに配布資料は、吹田市立の各館及び情報公開課で閲覧可能です。

要録作成日：平成 25 年（2013 年） 4 月 1 日

- A 委員) 坂本委員
- B 委員) 末岡委員
- C 委員) 議長
- D 委員) 原田委員
- E 委員) 浅野委員
- F 委員) 島村委員
- G 委員) 尾崎委員
- H 委員) 中川委員
- I 委員) 稲垣委員
- J 委員) 早瀬委員